

小学部

幼稚部と小学部は、当日体育館で競技を行いました。



幼稚部



創立110周年記念 運動会

高等部



中学部



後日ミニ運動会で盛り上がりました。

予行では、4人全員で力走しました。

無花果

No.189
令和4年7月23日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

創立110周年を迎えて、学校への思い

校長 新井敏彦



「その挑戦（チャレンジ）が未来につながる『新たなページへ』です。」

五月には、創立110周年記念運動会を実施しました。当日はあいにくの天候でしたので、内容を大幅に変更して、体育館でできることに取り組みました。生徒たちがデザインした記念Tシャツを、全校の子どもたちと先生たちが着用したことで、会場には一体感が生まれました。思い切り身体を動かすことはできませんでしたが、全校縦割りで練習や準備を続けてきたエール交換を、元氣いっぱい披露しました。みんなで運動会を楽しみ、110周年をお祝いすることができました。

この日は、三年ぶりに卒業生サロンも実施し、久しぶりに卒業生が元氣な顔を見せに来てくれました。「ずっと来たかった。うれしい。」という声を数多くいただきました。コロナ禍で、来校をがまんしていたことが想像されるとともに、本校に対するあふれる思いを受け止め、胸が熱くなりました。次の卒業生サロンは、十月の創立110周年記念学習発表会の日に予定されています。この日はタイムカプセル開封式が予定されており、「自分が入れた物を覚えていきます。開けるのが楽しみです。」という声に、卒業生たちの期待感を感じました。この後も、創立110周年記念事業がたくさん計画されています。子どもたちが活躍する役割や場面を設定して、一人一人が主体的に活動できるよう支えていきたいと考えています。この一年の教育活動を通して、子どもたちの本校への思いが深まってくれることを期待しています。保護者の皆様、同窓会や後援会の皆様、そして地域や関係機関の皆様、子どもたちのがんばりを応援してください。

各学部の学習・行事コーナー

幼稚園部

お誕生日 おめでとう！ ～五月のお誕生会～

中野 純子

五月二十三日、五月のお誕生会を行いました。誕生日を迎えたのは、ばら組の謙信さん、蓮生さん、ゆり組の惟愛さんです。蓮生さんは残念ながら当日欠席のため、翌日にばら組でお祝いをしました。飾りのついた特等席に座り、それぞれ冠やマントを身に付けて、自分の歳の数だけろうそくの火を吹き消した三人。友達からのプレゼントと「おめでとう」の言葉をたくさんもらい、最後までとびつきの笑顔で誕生会を楽しみました。

一歳ずつお兄さんやお姉さんになり、これからやってくる、さらさらした日々をたっぷり楽しんでほしいです。



小学部

はじめましてブライス先生

佐藤 悦子

「ブライス先生は男？女？」「なんて話せばいいの？」と、子どもたちは朝からそわそわ。ALTが初めて来る日です。「Hello」と手を振りながらこやかに入ってきたブライス先生を前に、一瞬動きが止まった子どもたちでしたが、すぐに笑顔になって「Hello!」。

「Hello」と音声や手指サインで自己紹介をしたり、色の名前をまねて言ってみたり、一緒にダンスをしたりと楽しい時間を過ごしました。英語は分からなくても、伝えようとする気持ちと身振り、手振り、そしてスマイルがあればコミュニケーションはOK！そう感じました。

「See you. また来てね。」子どもたちは次の機会を楽しみにしています。



中学部

転入生・新入生を迎える会

加賀谷 衿子

この春から、転入生一名、新入生一名が加わり、四人の集団となりました。

「転入生・新入生を迎える会」では、自分の好きなことや今年頑張りたいことを紹介しました。仲間との共通点や違う点を知ること、お互いに親しみを持ち、少し緊張が解けたようでした。また、ジェスチャーゲームでは、「もう一回！」「分かった。OK！」と身振りも交えて伝え合い、グループで協力する姿も見られました。この一年間、よく話し、共に活動し、心を通わせていく集団になることを期待しています。



高等部

会社見学会

幡宮 明

五月十九日に高等部の就職希望者を対象とした会社見学会を実施しました。学科ごとに分かれ、株式会社角繁（秋田市御所野）と太陽印刷株式会社（秋田市卸町）を見学しました。日々の学習と関連の深い業務内容のため、生徒たちも興味をもって説明を聞いた。質問をしたりしました。事後学習では生徒から「働くとは人の役に立つこと」というお話が印象に残った。「働く上で『誠実さ』が大切だと分かった」「機械での加工技術に驚いた」という感想が聞かれました。コロナ禍ではありませんが、快く見学を受け入れてくださった事業所様に感謝します。



寄宿舎から

共有場所清掃活動

伊藤 葵

寄宿舎では、これまで新型コロナウイルス対策として、生徒による共有場所清掃を制限していましたが、今年度から、感染対策をとりながら再開することにしました。浴室、トイレ、洗面所、玄関を分担して清掃しています。

生徒は、はじめは手順表を見て工程を確認しながら作業していましたが、徐々に工程を覚え、丁寧さとスピードを意識して作業できるようになってきました。

自分が使った場所を自分できれいにすることは生活の基本であり、社会に出てからも必要な力です。寄宿舎生活の中で身に付けられるように取り組んでいきます。



創立一〇周年記念 運動会

創立一〇周年記念運動会

運動会実行委員長 鈴木 英揚

五月十四日(土)は、あいにくの雨となりましたが、体育館で開会式を行いました。

また、創立一〇周年をお祝いして「一一〇」の数字をポンポンで表し、児童生徒の息を合わせたエールを披露しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、その他の種目は、学校全体で実施することはできませんでしたが、幼稚部と小学部は開催することができました。また、中学部と高等部は、日を改めてミニ運動会を実施しました。感染力に配慮した協力いただきありがとうございます。



各組キャプテンから

ミニ運動会

(赤組) 高等部三年 畠山 陽稀

運動会当日は、雨で開会式とエール交換のみとなりました。エール交換では、児童生徒が心を一つにし、お客様もみんなで盛り上がることができました。後日、中学部と高等部の趣向走では、ミニ自転車が小さすぎて、前に進むのが大変でしたが、中学部の生徒も見に来てくれた先生方も大笑いし、楽しいミニ運動会となりました。

記念すべき運動会

(白組) 高等部三年 藤原 心華

コロナ禍でも、創立一〇周年記念運動会が開催できる喜びをかみしめながら練習に取り組みました。当日は、白組赤組それぞれの個性を發揮したエール交換で、会場を盛り上げることができました。児童生徒一人一人が輝いていました。記念すべき運動会でキャプテンを務め、仲間とともに助け合って成功できたことは、良い思い出になりました。

創立一〇周年記念事業

本校は今年度、創立一〇周年記念として、式典を始め様々な行事を計画しています。

児童生徒のアイデアを生かしたスローガンやポスター、記念品などの制作を進めています。全校一丸となって盛り上げていきたいと思っています。



PTAから

マスクなしの日常を

PTA会長 高橋 すみか

コロナが流行し始めてから三年目を迎えました。マスクは日常の中で当たり前のもとなり、熱中症を防ぐ観点から「マスクは屋外では外すように」と呼びかけられているものの、道を歩けばほとんどの人がマスクをしています。ご存知のように、聴覚障害児・者にとって、マスクはコミュニケーションを取る上での弊害となります。その観点から、私は外では積極的にマスクを外すようにしています。一日も早く、以前のような日常が戻り、子どもたちやPTAの皆様とマスクなしで笑い合いたいと願う毎日です。

新入生の紹介

幼稚園部

幼稚園部 わくわくばら組さん

ばら組担任 大滝 侑以子



四月から、ばら組に新しい仲間が増えました。絵本や歌が大好きな金蓮生さん。入学式では、はじめは不安そうでしたが、名前を呼ばれると、立派にお返事をしてくれました。ばら組で待っていた、謙信さん、将矢さん、咲代子さんとも、あつという間に仲良くなりました。四人が揃った運動会では、みんな最後まで一生懸命走りきることができましたね。これからわくわくすばい遊んで、いっぱいお話して、いろんなことにチャレンジしましょうね！

中学部

中学部 チャレンジ
〜今できることを精一杯やろう〜

一年担任 中野 あかね



中学部新入生は、高橋結乃さんです。入学して間もなくから、中学部の日課を覚え、活動や学習に自分から進んで取り組んでいます。今年の学級目標は「チャレンジ〜今できることを精一杯やろう〜」です。目指す自分の姿に近づけるように、自分のできることを一歩ずつ頑張りたいという気持ちが入っています。新しい中学部生活の中で様々なことにチャレンジして、成長していく姿を楽しみにしています。

中学部3年生に大潟中学校から藤田泰輝さんが仲間入りしました。よろしくお願いたします。

高等部

二人の蓮さんを迎えて

一年担任 鷲谷 和



今年度高等部には、二人の蓮さんが入学しました。川邊蓮さんと沼倉蓮さんです。秋田市の中学校から入学した二人は、聴覚支援学校の生活にも慣れ、初めての定期考査、初めての校内実習に向けての学習をがんばりました。今年の学級目標は「フレンズ」です。同じ名前の二人で、協力し合い高め合おうという気持ちが入っています。「蓮」の複数形という言葉遊びも入っています。

高等部専攻科

信頼される社会人を目指して

一年担任 兔澤 花菜



高等部専攻科には門脇紗南さん、伊藤玲央さん、松本拓己さんの三名が入学しました。三名とも入学後すぐに打ち解け、専攻科一年の教室からはいつも楽しそうな声が聞こえてきます。教室の後方には「信頼される社会人とは」という問いを大きく書いて掲示しています。信頼される社会人になるために、どう行動するかを常に考え、将来の自己実現に向けて切磋琢磨していく三名の姿にご期待ください。